

製品名: CD9 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08483**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CD9 CD9; MIC3; TSPAN29; GIG2; CD9 antigen; 5H9 antigen; Cell growth-inhibiting gene 2 protein;
別名	Leukocyte antigen MIC3; Motility-related protein; MRP-1; Tetraspanin-29; Tspan-29; p24; CD antigen CD9
遺伝子 ID	928.0
SwissProt ID	P21926
免疫原	抗血清はヒト CD9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

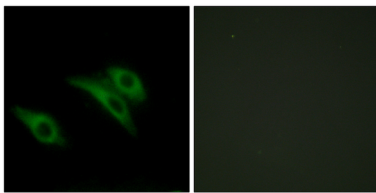
背景

この遺伝子は、膜貫通型 4 スーパーファミリー (テトラスパニンファミリーとも呼ばれる) のメンバーをコードします。テトラスパニンは、4つの膜貫通ドメインを持つ細胞表面糖タンパク質で、他の細胞表面タンパク質と多量体複合体を形成します。コードされているタンパク質は、分化、接着、シグナル伝達など、多くの細胞プロセスで機能し、この遺伝子の発現は癌細胞の運動性と転移の抑制に重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2011 年 1 月]、機能: 血小板の活性化と凝集に関与。パラノードジャンクションの形成を調節。細胞接着、細胞運動性、腫瘍転移に関与。精子と卵子の融合に必要。、PTM: 分子量 22~27 kDa の 3 つの形態で存在するタンパク質で、共有結合した脂肪酸を運ぶことが知られている。、類似性: テトラスパニン (TM4SF) ファミリーに属する。、サブユニット: テトラスパニンファミリーの他のメンバーと、ジスルフィド結合したホモダイマー、高次ホモオリゴマー、およびヘテロオリゴマーを形成する。CR2/CD21 および PTGFRN/CD9P1 と会合する。IGSF8 と直接相互作用する。、組織特異性: 様々な造血細胞および上皮細胞で発現する。、

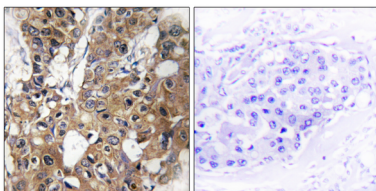
研究分野

造血細胞系統;

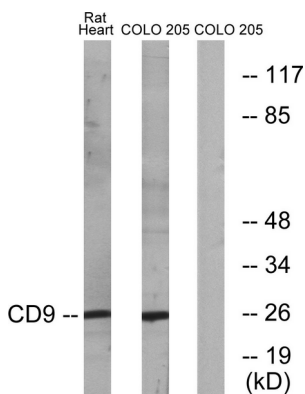
画像データ



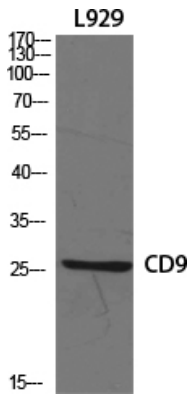
CD9 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



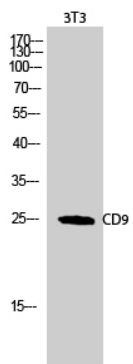
CD9 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CD9 抗体を用いたラット心臓および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した CD9 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 に希釈した CD9 ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析